

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

山口県 周南市

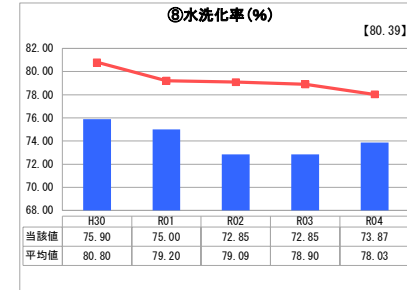
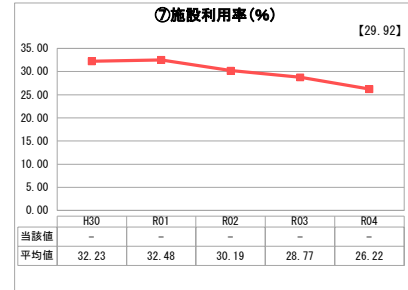
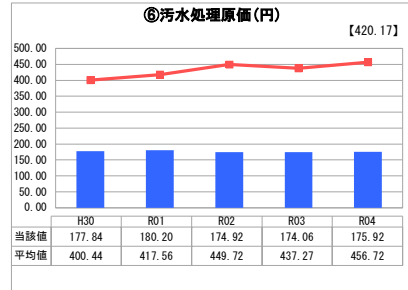
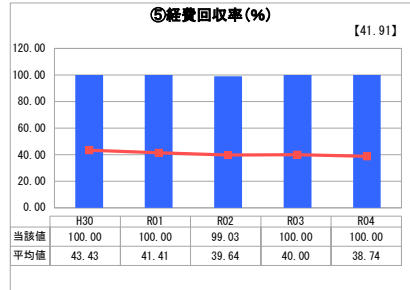
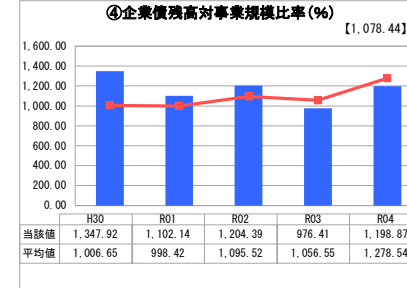
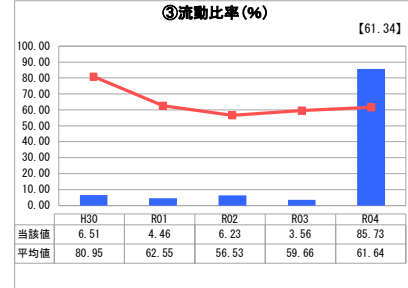
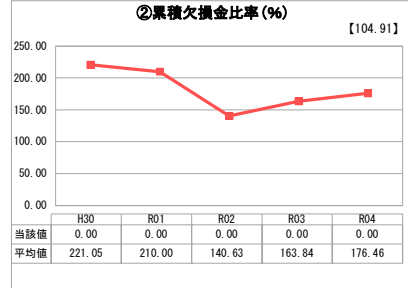
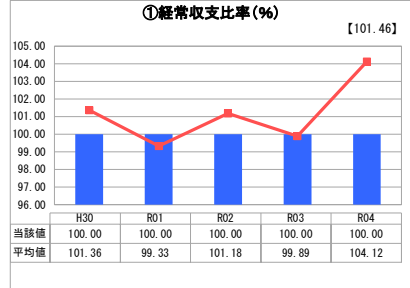
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	76.02	0.21	100.00	3,275

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
138,104	656.29	210.43
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
287	0.13	2,207.69

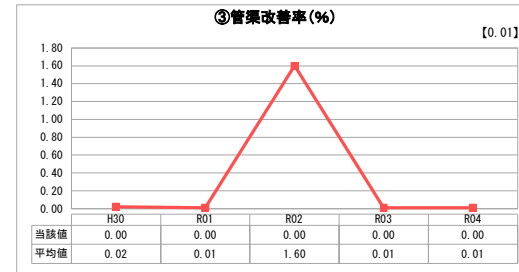
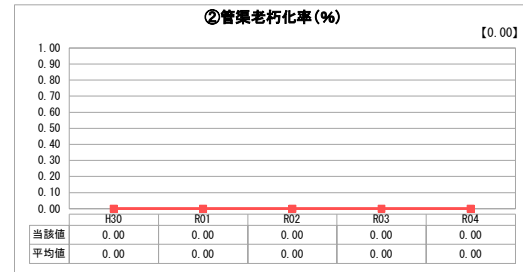
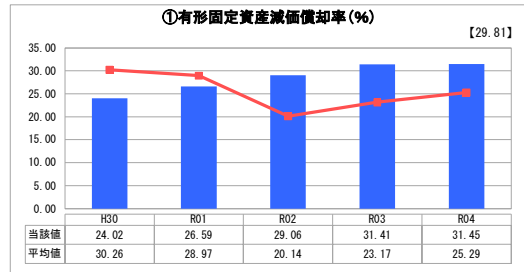
**グラフ凡例**

- 当該団体の値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、一般会計からの繰入金により、収益的収支を均衡させており、100%となった。累積欠損金は、発生していない。

流動比率は、類似団体平均値と比較すると高い数値である。これは令和4年度に建設改良工事を実施し、企業債を借り入れたが、工事費が未払いとなったためである。

企業債残高対事業規模比率は、使用料収入に対し約12倍の企業債残高となるが、類似団体平均値と比較して低い。

経費回収率は100%で、類似団体平均値と比較して高く、使用料で回収すべき経費は使用料で賄えている。

汚水処理原価は、類似団体平均値と比較すると低い。これは、本事業では独自の処理場を建設せず、公共下水道の処理場に接続していることによるものである。

施設利用率は、公共下水道の処理場に接続しているため算出されない。

水洗化率は、類似団体平均値と比較すると低い。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比較すると高い。今後、更新時期となるまで徐々に高くなる見込みである。

管渠老朽化率と管渠改善率は、供用開始から26年目の事業であり、法定耐用年数を経過した管渠は無いため、0%である。

### 全体総括

本事業は、事業規模が小さく経営効率も悪いため、収益的収支の黒字化は困難である。使用料で経費をほぼ賄うことができていた状況だが、元々の処理区域内人口が少ない上に、人口減少が進んでおり、一般会計からの繰入金に依存している状況にある。

下水道使用料の設定など、公共下水道事業の経費回収率等を勘案しながらの経営となる。

今後、更新・修繕が見込まれる施設について、計画的な事業の実施を図り、公共下水道事業との一括経営により、一層の経費の節減に努めなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。